VI S 人荷共用エレベータ

Ⅵ-1 計画編(一方向出入口)

1-1 エレベータの仕様、台数の選定

- エレベータの仕様、設置台数は、ビルの規模、用途、立地条件に応じて十分な輸送能力と効率良いサービスができるように 選択することが大切です。
- ■ビルの設置条件に合った、最適なプランをご提案させていただきます。ご計画の際には、当社にご相談ください。

エレベータ配置計画上のご注意

- 停止階が不揃いの場合は、サービスが低下する場合があります。
- ■エレベータが対向配置となる場合は、ホールの広さを十分にとってください。
- 輸送効率を高めるため、エレベータはできるだけ建物中央に集中配置してください。

フジテックのホームページで設計に必要な情報をご提供しています。一

□BIMダウンロード

□CADダウンロード

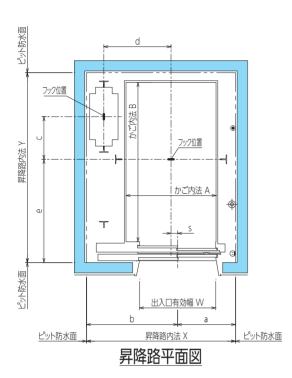
上記2つのサービスは、簡単な会員登録ですぐにご利用いただくことができます。

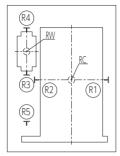
設計をお考えの方は https://www.fujitec.co.jp/sales/

1-2基本仕様

ĺ	No	型式	定格速度	容	量	電動機容量
	No.	室式	(m/min)	定員 (名)	積載(kg)	(kW)
	1	S-20L-2S-45	45			6.0
	2	S-20L-2S-60	60	20	1300	8.0
	3	S-20L-2S-90	90			12.0
	4	S-22L-2S-45	45			6.7
	5	S-22L-2S-60	60	22	1450	8.9
	6	S-22L-2S-90	90			14.0
	7	S-26L-2S-45	45			8.1
	8	S-26L-2S-60	60	26	1750	11.0
	9	S-26L-2S-90	90			17.0

1-3 昇降路がRC造の場合の寸法例

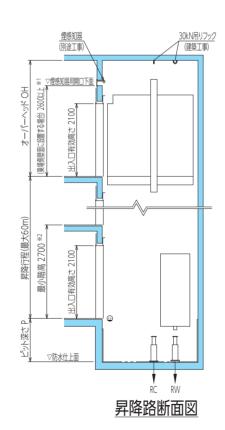




レールに作用する荷重値												
		Рх	Ру									
Py	かご	PC1	PC2									
PX Px	おもり	PW1	PW2									
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	柱	PH1	PH2									
本荷重による建築部材のたわみは 5mm以下としてください。												

ピット荷重分布図

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
•	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL±200mm 引出し電線長さ:6500mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+6500mm	(別途工事)
\rightarrow	電源引込み位置 - 引込み高さ:最下階FL-200~0mm 引出し電線長さ:4000mm	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+4000mm	(電気工事)
<u> </u>	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	(電気工事)



標準寸法表 (単位:mm)

		出入口	D 86 06 1 31	オー	バーヘッド OH	注⑥										
型式	かご内法 A×B	出入口 有効幅	昇降路内法 X×Y		昇降行程		ピット深さ 	а	b	С	d	е	s			
	7,115	W	X	30m以下	45m以下	60m以下										
S-20L-2S-45				3300	3350	3450	1250									
S-20L-2S-60	1300×2300	1100	2150×2740	3300	3330	3430	1230	835	1315	615	970	1490	95			
S-20L-2S-90				3400	3450	3550	1400									
S-22L-2S-45				3300	3350	2450	1250									
S-22L-2S-60	1400×2300	1100	2250×2740	3300	3350	3450	1250	835	1415	615	1020	1490	145			
S-22L-2S-90				3400	3450	3550	1400	1								
S-26L-2S-45				2200	2250	2450	1050									
S-26L-2S-60	1500×2500	1200	2350×2890	2350×2890	2350×2890	2350×2890	3300	3350	3450	1250	885	1465	640	1070	1590	145
S-26L-2S-90				3400	3450	3550	1400	1				.				
S-26L-2S-90 [注] ①昇降路内法はピット防水仕上後の有効寸法です。 また、ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。 ②昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム(建築工事)が必要となります。 ③最大ピット寸法と超える時は埋戻してください。(建築工事) ④ピット下部は原則として使用できません。 ③男棒機制養設計・施工指針(2016年度販)耐震クラスA14が基本仕様です。 耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。 ⑤クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、 別は維乳酸性の場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、 別は維乳酸性の場合とは、上記のオーバーヘッドより延長となり、 別は維乳酸性の場合とは、上記のオーバーヘッドより延長となり、 別は維乳酸性の発展が必要となります。																

荷重夷

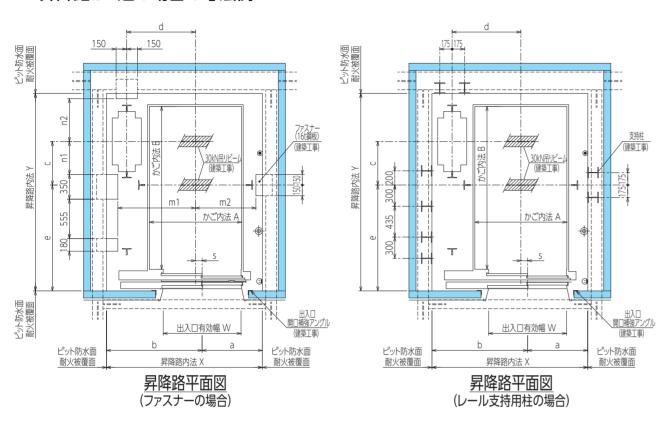
(単位:kN)

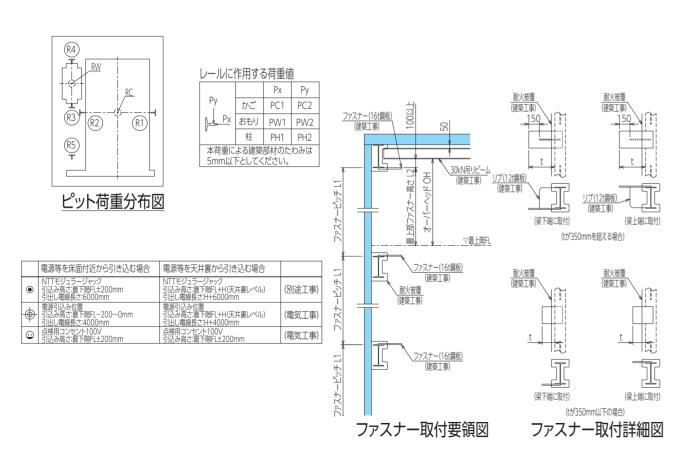
型式		ピット部レ	/-ル下部に (長期荷重)	かかる荷重		ピット部緩衝器 (短期	レールに作用する荷重値 (短期荷重)						
	R1	R2	R3	R4	R5	RC(かご側)	RW(おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2	PH1	PH2
S-20L-2S-45				128	118								
S-20L-2S-60	58	59	59	45	32	159	149	9.6	9.0	10.7	5.9	1.7	1.7
S-20L-2S-90						164	154						
S-22L-2S-45						138	125						
S-22L-2S-60	61	61	61	47	32	171	158	10.1	9.6	11.3	6.2	1.7	1.7
S-22L-2S-90						176	164]					
S-26L-2S-45						158	140						
S-26L-2S-60	65	65	65	50	33	195	177	11.0	10.6	12.7	6.8	1.7	1.7
S-26L-2S-90	6L-2S-90			201	183								

[注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。(耐震クラスA14) ②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

^{※1.}乗場側以外の壁面に設置する場合は、当社にご相談ください。 ※2.かご床強度増の場合は、当社にご相談ください。

1-4 昇降路がS造の場合の寸法例





標準寸法表

標準寸流	表表															(単位	: mm)
	かご内法	出入口 有効幅	昇降路内法	オーバ	ーヘッド C)H 注⑥	ピット深さ										
型式	A×B	有効幅 W	XXY		昇降行程		P	а	b	С	d	е	m1	m2	n1	n2	S
		VV		30m以下	45m以下	60m以下											
S-20L-2S-45				3300	3350	3450	1250										
S-20L-2S-60	1300×2300 11	1100	2200×2790			3430	1230	850	1350	615	970	1495	1095	855	465	565	95
S-20L-2S-90				3400	3450	3550	1400										
S-22L-2S-45				3300	3350	3450	1250										
S-22L-2S-60	1400×2300	1100	2300×2790	3300	3330	3430	1250	850	1450	615	1020	1495	1145	905	465	565	145
S-22L-2S-90				3400	3450	3550	1400										
S-26L-2S-45				3300	3350	2450	1250										
S-26L-2S-60	1500×2500	1500×2500 1200	1200 2400×2940 3	3300	3330	3450	1230	900	1500	640	1070	1595	1195	955	490	590	145
S-26L-2S-90				3400	3450	3550	1400	1									

荷重表

(単位:kN)

型式		ピット部レ	ール下部に (長期荷重)			ピット部緩衝器 (短期	レールに作用する荷重値 (短期荷重)						
	R1	R2	R3	R4	R5	RC(かご側)	RW(おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2	PH1	PH2
S-20L-2S-45						128	118						
S-20L-2S-60	58	59	59	45	32	159	149	9.6	9.0	10.7	5.9	1.7	1.7
S-20L-2S-90						164	154						
S-22L-2S-45						138	125						
S-22L-2S-60	61	61	61	47	32	171	158	10.1	9.6	11.3	6.2	1.7	1.7
S-22L-2S-90						176	164						
S-26L-2S-45						158	140						
S-26L-2S-60	65	65	65	50	33	195	177	11.0	10.6	12.7	6.8	1.7	1.7
S-26L-2S-90						201	183						

[[]注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。(耐震クラスA14) ②オブション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

ファスナー取付寸法表

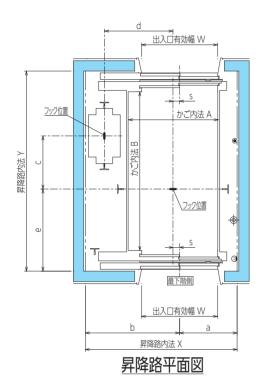
(単位:mm)

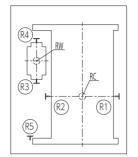
			最上階ファスナー高さ(L2)	
型式	ファスナーピッチ (L1)		昇降行程	
	(2.7	30m以下	45m以下	60m以下
S-20L-2S-45		3000~3035	3050~3085	3150~3185
S-20L-2S-60	4150以下	3000-3033	3030-3083	3130-3163
S-20L-2S-90		3100~3135	3150~3185	3250~3285
S-22L-2S-45		2000 2025	2050, 2005	2150 2105
S-22L-2S-60	3950以下	3000~3035	3050~3085	3150~3185
S-22L-2S-90		3100~3135	3150~3185	3250~3285
S-26L-2S-45		3000~3035	3050~3085	3150~3185
S-26L-2S-60	3700以下	3000,~3035	3050/~3085	3150~3185
S-26L-2S-90		3100~3135	3150~3185	3250~3285

[[]注] ①ファスナー取付が本要領を満足しない場合はレール支持用柱が必要になります。 ②レール支持用柱のサイズは、エレベータの仕様や設置条件により異なりますので当社にご相談ください。 ③設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。(耐震クラスA14)

Ⅵ-2 計画編(二方向出入口)

2-1 昇降路がRC造の場合の寸法例

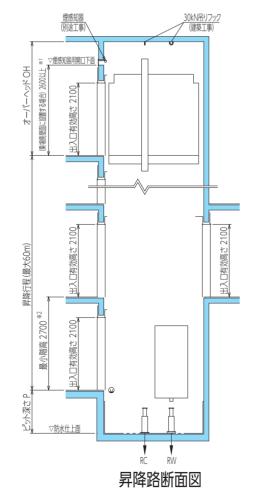




ノールに	作用する	5荷重値	Ī
		Рх	Ру
Ру	かご	PC1	PC2
PX PX	おもり	PW1	PW2
U	柱	PH1	PH2
本荷重に 5mm以			わみは

ピット荷重分布図

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
•	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL±200mm 引出し電線長さ:4500mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+4500mm	(別途工事)
\rightarrow	電源引込み位置 - 引込み高さ:最下階FL-200~0mm - 引出し電線長さ:3500mm	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+3500mm	(電気工事)
<u></u>	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	(電気工事)



※1. 乗場側以外の壁面に設置する場合は、当社にご相談ください。 ※2. かご床強度増の場合は、当社にご相談ください。

標準寸法表

標準寸法表	툿												(単1	位:mm)		
	,	出入口	昇降路内	オーバ	ーヘッド C)H 注⑦	ピット深	さ P 注②								
型式	かご内法 A×B	有効幅	法		昇降行程		標準	特殊	а	b	С	d	е	s		
	7,5	W	X×Y	30m以下	45m以下	60m以下	标华	付水								
S-20L-2S-45			0000	3300	3350	3450	1250	1650								
S-20L-2S-60	1300×2300	00×2300 1100	1100	1100	2200× 2900	3300	3330	3430	1230	1030	835	1365	770	995	1190	95
S-20L-2S-90			2000	3400	3450	3550	1400	1800								
S-22L-2S-45			2300 x 3300 3350 3450 1250 1650													
S-22L-2S-60	1400×2300	1100	2300× 2900	3300	3330	3430	1230	1030	835	1465	770	1045	1190	145		
S-22L-2S-90			2000	3400	3450	3550	1400	1800								
S-26L-2S-45			0.400 \	3300	3350	3450	1250	1650								
S-26L-2S-60	1500×2500	1500×2500 1200	2400× 3100	995		1515	770	1095	1290	145						
S-26L-2S-90				3400 3450 3550 1400 1800												

- [注] ①男降路内法はビット防水仕上後の有効寸法です。 また、ビット部の防水厚さは25mm以下にしてください。 ②以下の条件の時、ビット深さは「特殊」に記載している寸法を確保ください。 ・正面側または背面側の乗場ドアが最下階のみ及び

 - 開閉機器点検口を設けられない場合 ③昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム(建築工事)が必要となります。

- 要にオーバーヘッド寸法が必要になります。 ②昇降路の状況(隣接居室あり、耐震スリットあり等)によっては、 昇降路内法が大きくなることがあります。

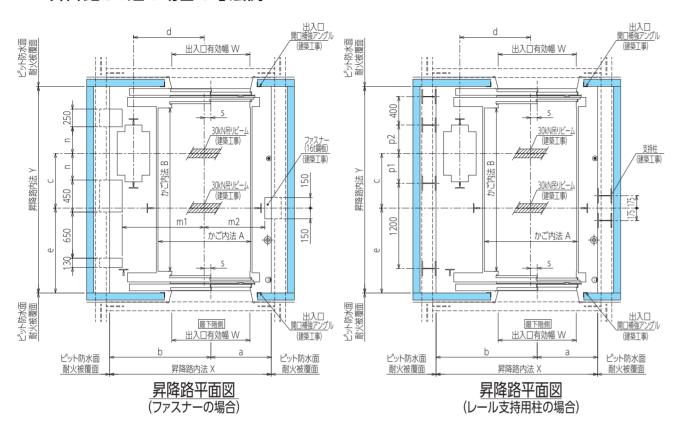
荷重表

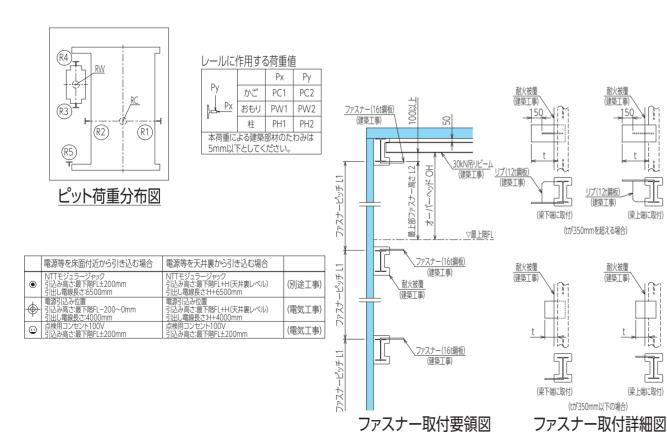
(単位:kN)

型式	ピ	ット部レー	-ル下部に 長期荷重	こかかる荷)	重	ピット部緩衝器 (短期	レールに作用する荷重値 (短期荷重)						
	R1 R2 R3 R4 R5		RC(かご側)	RW(おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2	PH1	PH2			
S-20L-2S-45						128	118						
S-20L-2S-60	58	54	86	44	18	159	149	10.0	9.0	10.7	5.9	1.7	1.7
S-20L-2S-90						164	154						
S-22L-2S-45						138	125						
S-22L-2S-60	61	56	90	46	19	171	158	10.6	9.6	11.3	6.2	1.7	1.7
S-22L-2S-90						176	164						
S-26L-2S-45						158	140						
S-26L-2S-60	66	60	98	48	21	195	177	11.7	10.6	12.7	6.8	1.7	1.7
S-26L-2S-90						201	183						

[注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。(耐震クラスA14) ②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

2-2 昇降路がS造の場合の寸法例





標準寸法表

標準寸法	云表																	(単位	: mm)
型式	かご内法 A×B	出入口 有効幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッド OH 注⑦		ピット深さ P 注②													
				昇降行程			堙淮	標準 特殊	а	b	С	d	е	m1	m2	n	p1	p2	s
		VV		30m以下	45m以下	60m以下	1ホ+	117//											
S-20L-2S-45				3300	3350	3450	1250	1650											
S-20L-2S-60	1300×2300	1100	2275×2910	3300	3330	3430	1230	1030	850	1425	770	995	1195	1155	855	375	420	400	95
S-20L-2S-90				3400	3450	3550	1400	1800											
S-22L-2S-45				3300	3350	3450	1250	1650											
S-22L-2S-60	1400×2300	1100	2375×2910	3300	3330	3450	1230	1650	850	1465	770	1045	1195	1205	905	375	420	400	145
S-22L-2S-90				3400	3450	3550	1400	1800											
S-26L-2S-45				3300	3350	3450	1250	1650											
S-26L-2S-60	1500×2500	1200	2475×3110	3300	3350	3450	1250	1650	900	1575	770	1095	1295	1255	955	375	420	400	145
S-26L-2S-90				3400	3450	3550	1400	1800											

[注] ①ビット部の防水厚さは25mm以下にしてください。 ②以下の条件の時、ビット深さは「特殊」に記載している寸法を確保ください。 正面側または背面側の乗場ドアが最下階のみ及び

開閉機器点検口を設けられない場合 ③昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム (建築工事) が必要となります。

の最大ビット寸法は2000mmです。 最大ビット寸法を超える時は埋戻してください。(建築工事)

最大ビット寸法を超える時は理保し(くたさい。(建築上事) ⑤ピット下部は原則として使用できません。 ⑥昇降機耐震設計・施工指針(2016年度版)耐震クラスA14が基本仕様です。 耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。 ⑦クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、 別途換気設備(別途工事)が必要となります。

⑧上表の昇降路奥行内法Yは遮煙エレベータ乗場ドア適用なしの場合を示します。
 適用ありの場合は下記寸法になります。
 ・正面ドア、背面ドア共塩煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合: Y+20
 ・正面ドア、背面ドアのいずれかが遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジ

ケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合:Y+10 ・上記以外:Y±0 ・全部演練引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。

⑩昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上(仕上げを含まず)にしてください。 また、同コンクリートの強度は21 N/mm²(Fc21)以上確保ください。

また、同コンノリーでの対反はと1VVIIIII(「にと!) 以上端末、たらい。 ①かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や 特に高さのある機器をかご上に設置する場合は 更にオーバーヘットで法が必要になります。 ②レール支持用柱の場合、昇降路内法×およびb寸法は、+35mmとなります。(B-23以外)

荷重表

(単位:kN)

型式		ピット部レ	ール下部に (長期荷重)	かかる荷重		ピット部緩衝器 (短期	レールに作用する荷重値 (短期荷重)						
	R1	R2	R3	R4	R5	RC(かご側)	RW(おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2	PH1	PH2
S-20L-2S-45						128	118						
S-20L-2S-60	58	54	86	44	18	159	149	10.0	9.0	10.7	5.9	1.7	1.7
S-20L-2S-90						164	154						
S-22L-2S-45						138	125						
S-22L-2S-60	61	56	90	46	19	171	158	10.6	9.6	11.3	6.2	1.7	1.7
S-22L-2S-90						176	164						
S-26L-2S-45						158	140						
S-26L-2S-60	66	60	98	48	21	195	177	11.7	10.6	12.7	6.8	1.7	1.7
S-26L-2S-90						201	183						

[[]注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。(耐震クラスA14) ②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

ファスナー取付寸法表

(単位:mm)

		最上階ファスナー高さ(L2)								
型式	ファスナーピッチ (L1)	昇降行程								
	(21)	30m以下	45m以下	60m以下						
S-20L-2S-45		3000~3035	3050~3085	3150~3185						
S-20L-2S-60	3950以下	3000~3035	3050~3065	3150~3165						
S-20L-2S-90		3100~3135	3150~3185	3250~3285						
S-22L-2S-45		2000 2025	2050 2005	2150, 2105						
S-22L-2S-60	3750以下	3000~3035	3050~3085	3150~3185						
S-22L-2S-90		3100~3135	3150~3185	3250~3285						
S-26L-2S-45		2000 2025	2050 2005	2150, 2105						
S-26L-2S-60	3550以下	3000~3035	3050~3085	3150~3185						
S-26L-2S-90		3100~3135	3150~3185	3250~3285						

[[]注] ①ファスナー取付が本要領を満足しない場合はレール支持用柱が必要になります。 ②レール支持用柱のサイズは、エレベータの仕様や密度条件により異なりますので当社にご相談ください。 ③設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。(耐震クラスA14)